

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小田原市	富水・桜井 (富水・桜井)	令和3年3月24日	令和3年3月24日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	142 ha
②アンケートに回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	102 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	51 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	18 ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.79 ha
(備考) 良質米生産地帯である。	

## 2 対象地区の課題

- ・農地と宅地が混在していて、営農環境が悪化している。
- ・農地の多くを田(約80%)が占めるが、農道が狭く大型機械の搬出入が困難である。
- ・70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の合計は18ha(約13%)であるが、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は4.79haである。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・田利用については、中心経営体である認定農業者8経営体が担っていくほか、農作業受託組織の強化を図り対応していく。
- ・畑利用については、中心経営体である認定農業者6経営体が担っていく。